

# 広報誌 すこやか

第36号

医療の新たなうねりのなかで  
健康創造

In the New Tide of Medical Care : Health Creation

第51回  
日本人間ドック学会学術大会

2010年8月26日(木)・27日(金)

旭川市民文化会館・旭川グランドホテル

吉田 威 (医療法人社団慶友会 吉田病院 理事長・病院長)

New  
Doctor

放射線科医

たけうち しゅう へい  
武内周平先生

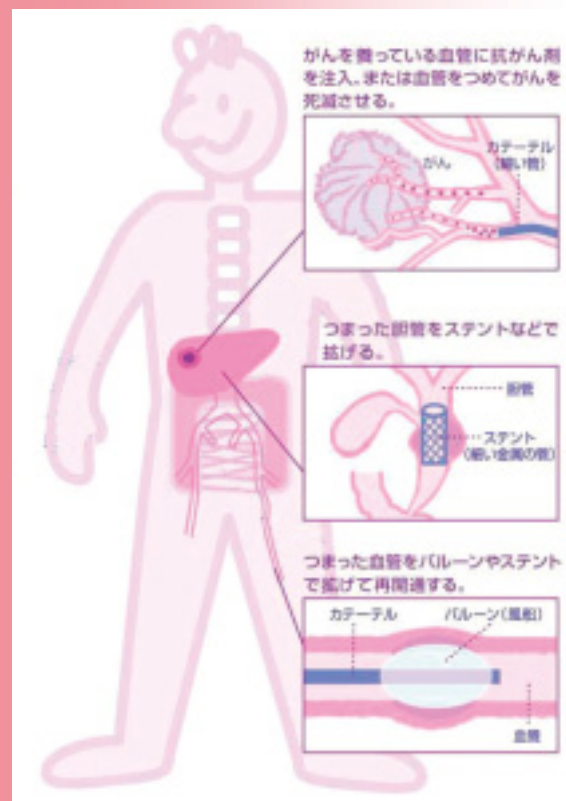


-Profile-

経歴: 旭川医科大学 医学部・卒  
日本医学放射線学会専門医、日本  
インターベンショナルラジオロジー学  
会専門医  
趣味: 文房具・家電

## 放射線科医の仕事とは

X線単純写真、X線透視・造影検査、CT、超音波検査、血管造影検査などの画像検査とその診断を行っています。また、X線透視、超音波、CT、血管造影といった画像をもとに放射線診断技術を用いた特殊検査や治療も行っています。これは画像誘導下に行う治療で、インターベンショナル・ラジオロジー(IVRと略称しています)と総称されています。具体的には、X線(レントゲン)透視像、血管造影像、US(超音波)像、またはCT像を見ながらカテーテルと呼ばれる細い管や、針を用いて外科手術なしで、できるかぎり体に傷を残さずに病気を治療したりする画期的な方法です。詰まった血管や胆管を上げたり、出血した血管をつめて止血したり、がんを死滅させたり、さまざまな治療を行います。手術を必要としないため体への負担が少なく病気の場所だけを正確に治療することができます。



放射線科医の様々な仕事

# 部門紹介



リハビリテーション課 課長

大谷 忠義

## “リハビリ”について 正しい理解を

「Rehabilitation リハビリテーション」という言葉は、よく聞かれると思いますが、一番誤解されている言葉ではないでしょうか。リハビリイコール治療訓練のように理解されていることが多いと思います。今回は、少しでもリハビリについて正しく理解していただけるように解説したいと思います。まず、リハビリテーションを日本語で表すと「全人間的復権」といわれます。もう少し詳しく言いますと、本来人間としての権利が奪われるような状態からその人らしさを取り戻すこと。地位、名誉、権利など人生の中で築いてきたものが、何らかの原因で奪われ、元の状態に戻す過程を指します。

さて、これが病院に入院される患者様では健康が奪われ、これまで築いてきた生活が途絶えます。この状態から今までの生活を取り戻すために、病院では様々な人が関わります。これをチーム医療といいます。中心になるのは、患者・家族様であり、その周りに医師を含む医療関係者・在宅での生活に関わる福祉関係者で協力して進めます。進めるにあたっては、しっかりした目標を立て、目標を達成するために関係者がそれぞれの得意分野からアプローチします。そのなかにリハビリの専門職といわれる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がいます。次にその専門職種について説明します。

まず理学療法士は、起きたり・歩いたり・走ったりなど「動くこと」を扱うプロです。運動に関わる神経・骨・筋肉・呼吸・心臓についての知識を持ち訓練を実施します。次に作業療法士は、目的の場所で行う「活動」を扱うプロです。朝起きてから寝るまで行う日常の活動、職業復帰に向けた職業訓練、生活を豊かにする趣味活動を実施します。最後に言語聴覚士は、言葉に関わる「コミュニケーション」と「食べること」のプロです。口の機能だけでなく、それを支配している脳に対して訓練を実施します。





## 吉田病院ではどうかという？

吉田病院のリハビリテーション課では、理学療法士9名、作業療法士3名、言語聴覚士3名、マッサージ師1名、助手2名で入院・外来患者様の治療に当たっています。治療には、専用の器具が置かれた訓練室があります。ここでは、患者様の能力を発揮できるよう、様々な場面を想定して訓練します。また、普段生活している病棟でも訓練を行います。普段ベッドで寝たきりの患者様でこれから車いすに乗せる訓練。訓練室で出来るようになったことを、実際の病棟生活に活かせるように試験的に行う訓練。病棟で出来ることは、看護師も見守りながら普段からたくさん行ない、着実なものにしていきます。場合によっては、去年作られた「ふれあい広場」など外の道路を歩く訓練をします。介護者がいる方では、外泊を進めていきます。久々に帰るお家で気分転換にもなりますが、家で何が出来て、何が問題なのかを確認します。問題があったことは、病院でさらに解決策を検討します。このように、活動する場所は一定ではなく、環境に変化を加え刺激のある生活と落ち着いた生活のメリハリも重要になります。適度な刺激は、病院職員からだけでなく、面会に来てくださるご家族、友人の方にも一役買っていていただいています。自宅退院の方に対しては、退院前に家の状況を介護保険で関わるケアマネジャーと確認しに伺うこともあります。玄関・床の段差、トイレ・浴室の手すりなど住宅改修の助言も差し上げることがあります。

普段スタッフが心がけていることは、まず元気に接すること。(時には、患者様のがんばりを見ていて、逆に我々が元気を頂くこともあります。)訓練時間を出来るだけご家族様のいる時間にし、患者様のがんばりを確認して頂いたり、ご家族に実際協力お願いしています。患者様の力を「活かす」こと。(障害を持って、「生かされている」のではなく、患者様それぞれが持っている人格を含めた力を「活かす」ことが大切です。)

特色としては、旭川では少ない心臓リハビリテーションを循環器科武田医師の指導の下、3年以上取り組み特に心不全患者に対するリハビリの成果を学会等に発表しております。



## これからのリハビリテーション課は

これまで、病院の中で治療だけに携わってきました。しかし、自宅に戻ってから動く機会が少なくなり、がんばって身につけた能力が低下した患者様を耳にすることがあります。今後は、退院した患者様に対して、病院で身につけた能力を生活の場面で「活かしていく」ためにご自宅に訪問してリハビリを目指していく準備をしております。まだ、十分な体制はとれませんが、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。



—リハビリテーション課スタッフのみなさん—

## 外来診療担当医師シフト表

		月	火	水	木	金	土
午 前		武田寛樹 (循環器・内科)	武田寛樹 (循環器・内科)	岡田瑞穂 (糖尿・内科)	武田寛樹 (循環器・内科)	武田寛樹 (循環器・内科)	(武田寛樹) (馬場勝義) (横田欽一) (上田修) (武内周平)
		平井克幸 (血液・内科)	馬場勝義 (一般内科)	平井克幸 (血液・内科)	馬場勝義 (一般内科)	平井克幸 (血液・内科)	
		横田欽一 (消化器・内科)	横田欽一 (消化器・内科)	武内周平 (放射線・内科)	岩島保法 (糖尿・内科)	横田欽一 (消化器・内科)	
		鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方)	鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方)	鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方)		鈴木まゆみ (呼吸器・内科・漢方)	
		上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	
		武内周平 (放射線・内科)	【呼吸器】 大崎能伸(旭医大)	【循環器】 佐藤伸之(旭医大)	【漢方】 村主明彦予約制	【呼吸器】 豊嶋恵理(旭医大)	
		【呼吸器】 奥村俊介(旭医大)	武内周平 (放射線・内科)			岡田瑞穂 (糖尿・内科)	
	外科	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	(工藤浩市)
	整形外科	井上謙一	慶応大整形外科出張医	井上謙一	井上謙一	井上謙一	(井上謙一)
	糖尿病センター	岩島保法	岡田瑞穂	岩島保法	岡田瑞穂	岩島保法	(岩島・岡田)
肝臓病センター	長谷部千登美	長谷部千登美	長谷部千登美	長谷部千登美	関谷千尋	(長谷部千登美)	
	西川智哉	◎古川博之(旭医大) 紀野修一(旭医大)	西川智哉	大竹孝明(旭医大)	西川智哉	大竹孝明(旭医大)	
午 後	内科(前半)	横田欽一	鈴木まゆみ	武内周平	鈴木まゆみ	鈴木まゆみ	
	内科(後半)	上田修	岡田瑞穂	上田修	岩島保法	上田修	
	その他		【整形外科】 ★慶応大整形外科 出張医		【漢方】 ★村主明彦予約制 北里研究所 東洋医学総合研究所	【乳腺外来】 北田正博(旭医大) 詳細はお問い合わせ ください。	

### その他の外来のご案内

- 眼科—毎週木曜日(午前):旭医大眼科派遣医師
- 婦人科—毎週木曜日(午前):旭医大婦人科派遣医師
- 甲状腺—毎月第4土曜日:島袋嘉修医師(島袋内科医院)
- 歯科—月曜～土曜日(第1・3土曜休診):小西文医師  
月2回(月)在宅診療:小西文医師  
院内診療:馬淵 亜希子医師(北大口腔外科)

- ※各医師の都合により診察日・時間等の変更がある場合がございますのでご了承下さい。(受診の際は事前にお問い合わせ下さい)
- ※土曜日の診察医師は交代制となっております。
- ※午後内科外来の時間は、前半13:30～15:30  
後半15:30～18:00です。
- ※出張医・派遣医は青文字で記載しております。
- ※◎印の古川博之医師の診察は月2回となります。
- ※★印の慶応大学出張医・村主医師の診察は16時までとなります。
- ※上記のシフト表は平成22年3月23日現在のものです。



医療法人社団慶友会

# 吉田病院

070-0054 北海道旭川市4条西4丁目1-2

TEL 0166-25-1115 FAX 0166-25-4650

